2017（平成29）学年度

クラブ支援ロータリー米山記念奨学生募集要項

2017年4月／10月採用

－奨学期間延長プログラム・・地区を代表する米山奨学生を世話クラブが推薦－
地区によっては合格者がいない場合もあります。競争率が高いため合格への道は難関です。

クラブ支援ロータリー米山記念奨学金制度（以下「クラブ支援奨学生(金)」と表記）は、現役のロータリー米山奨学生で奨学期間が終了する者を対象に、奨学期間を延長する制度です。**申込みの主体は、世話クラブです。**
世話クラブとしてクラブ支援奨学金への応募を検討する際は、**地区を代表する奨学生として誇れるかを見極めることが必要です。また、被推薦者はこれらの義務と責任を認識し、遂行することが求められます。**
4 月採用の場合、2017 学年度割当数に含まれるため地区の新規採用数が減少します。**推薦クラブも被推薦者も、合格することによって続く後輩となる米山奨学生の採用が減少することの重みを感じることが必要です。**
10 月採用は６カ月間のみの延長申請としますので、割当数に含まれません。
なお、世話クラブは、延長支援するための奨学金の半額を特別寄付として合格後に納付していただきます。この特別寄付は、クラブ実績になります。
選考は、ガバナー、評議員、理事、米山奨学委員会を中心とした地区選考委員会、奨学会選考委員会の審査を経て、理事会が最終選定します。

I. 応募資格

１．世話クラブが主体となって申込む。米山奨学生個人による申込みは受付けない。
２．被推薦者は、延長して世話するに値する優秀性とロータリー運動への理解と協力度が高い現役奨学生であり、地区を代表する奨学生として誇れる人物であること。
３．在籍大学・課程・学年等
　① 奨学期間終了予定の奨学生（地区奨励と海外学友会推薦以外）で、2017 年 4 月（10 月）に同地区または近隣地区所在 ＊の大学の次の課程へ進学する者。海外応募者対象奨学金の場合は同課程の次の学年へ進級する者。留年は対象外とする。
　② 博士課程最終学年に在籍する奨学生で､6 ヶ月又は 12 ヶ月以内に学位取得を予定する者。
　③ ①の終了予定者で博士号を取得していない者。世話クラブの判断により、複数回延長申請ができる。ただし、進級・進学する者とし、留年は対象外とする。
　＊近隣地区所在の大学に進学(在籍)する場合は、研究分野が変わらないこと、および世話クラブに通えることを条件とする。
４．当奨学金合格後に世話クラブが延長期間の奨学金の半額を「特別寄付」として合格後、３月末（10 月採用は 9 月末）までに納付することが必須条件となる。

課程	期間	クラブの負担金額
学部	６カ月の場合	30 万円
	12 カ月の場合	60 万円
修士・博士	６カ月の場合	42 万円
	12 カ月の場合	84 万円

５．他の機関からの奨学金およびこれと同種の個人に与えられる補助金などとの二重受給はできない。

II. 奨学金額と奨学期間

奨学金額：学部生：10 万円, 大学院生 月額 14 万円
※博士の学位を取得した場合は、取得月をもって奨学期間が終了する。

奨学期間：

4 月採用	6 カ月または 12 カ月間のうちどちらかを選択 博士課程最終学年在籍者以外の応募者は、複数回応募できる。 博士課程最終学年在籍者は、１回のみの申請となる。
10 月採用	6 カ月間 博士課程最終学年在籍者以外の応募者は、複数回応募できる。 【博士課程最終学年在籍者の注意】 9 月に博士課程(YD)奨学期間を終了し、続く10 月からの延長を申請する場合は、その申請は 6 カ月間のみ。ただし、当初から 12 カ月間の延長を望む場合は、続く4月延長への申請を許可する。

III. クラブでの決定および地区への報告

- 当奨学金への申請をクラブの決議機関(理事会等)で協議し、合格後に延長期間の半分の奨学金を特別寄付として納付することを合意し、クラブ会員の協力を仰ぐ。
- 申請する奨学金の期間（6 カ月あるいは 12 カ月）を決定する。10 月採用は 6 カ月間のみ。
- 被推薦者の指導教員と連絡をとり、研究状況と将来性、および延長支援に値する奨学生であることを確認する。なお、博士課程最終学年に在籍する奨学生の場合は、学位取得時期の見込みについて確認する。
- 申請が決定したら、必ずガバナー事務所を通して、地区委員長に申請の旨を報告する。

IV. 制度実施地区

毎年、各地区にこの制度実施の有無を確認し、実施する地区のクラブのみが申込可能となる。2017 年度は以下の通り。

実施地区
2580, 2590, 2610, 2630, 2650, 2690, 2700, 2710, 2720, 2740, 2750, 2760
以下の地区は、直接地区米山奨学委員会に問合せ、了承を得てから申し込んでください。 2510, 2540, 2570, 2620, 2670, 2680, 2790, 2830, 2840
以下の地区は、10 月採用のみ申込可能です。 2520, 2770, 2780, 2820

V. 応募に必要な提出書類

A．申込書
B．指導教員からの推薦状（推薦内容をクラブで確認）
C．研究計画書（所定用紙）
D．被推薦者による小論文（所定用紙）
E．クラブ会長またはカウンセラーからの推薦状

VI. 合格後の提出書類

A．合格通知または在学証明書

4 月採用の場合、2017 年 4 月以降の進学大学への合格通知を 2017 年 3 月 25 日までに提出する。（10 月採用の場合は、2017 年 10 月以降の進学大学への合格通知を 2017 年 9 月 15 日ま

でに提出する)。その他、課程が変わらす学年が上がる者は在学証明書を提出する。

B．在留カード
写真の付いている面の PDF データ。文字がはっきり見えるもの。「在留期間(在留期限が 2016 年 10 月 1 日以降（10 月採用は 8 月以降）のもの)」、「国籍」、「在留資格」が記載されているもの。

C．奨学金受給回答
当会では、他奨学金との二重受給を禁止している。合格後、本人の当会奨学金受給回答により、他奨学金との二重受給を確認する。また、この用紙により博士号が未取得かを確認する。本人の署名後、FAX にて当会へ提出する。

D．クラブ支援（CY）用特別寄付金送金明細
4 月採用は 3 月末まで、10 月採用は 9 月末までに、クラブ負担金額を特別寄付として送金する。その際、送金明細を FAX またはメールで提出する。

VII. 採用数 若干名

各地区割当数の 20%以内でクラブ支援奨学生と地区奨励奨学生を採用できる。クラブ支援奨学生を採用することによって地区内の新規採用数が減少するため、採用数は地区選考委員会の方針によって決定される。

VIII. 募集と採否の決定

スケジュール	4月採用	10月採用
申込受付期限	2016年10月15日	8月15日
	世話クラブが書類を取りそろえて当会へ配達記録の残るもので送付	
地区選考委員会による選考方法	1月下旬までに実施	９月中旬までに実施
	①書類選考の他、面接試験を実施する場合がある。 ②4月採用の場合、学部・修士・博士課程ロータリー米山奨学生の審査と並行して行い、採用数は割当数の範囲内にて採用する。	
地区選考委員会から米山奨学会への選考結果報告（米山奨学会への提出期限）	１月中旬～2月1日	９月15日
米山奨学会から世話クラブあて合格通知送付日程	１月中旬～２月初旬 世話クラブあてに合否通知送付	９月下旬 世話クラブあてに合否通知送付
合格後、延長期間分の奨学金半額の納付期限	原則として３月末	原則として９月末

申込書送付先

〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
公益財団法人　ロータリー米山記念奨学会　TEL：03-3434-8681　　担当：武本

ｸﾗﾌﾞ支援ー

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
2017学年度採用ｸﾗﾌﾞ支援ﾛｰﾀﾘｰ米山奨学金申込書

地区・クラブ名	地区　　ＲＣ	
ｸﾗﾌﾞTEL・FAX	ＴＥＬ	ＦＡＸ
e-mail	e-mail	
	今　年　度	次年度（10月採用の場合は記入不要）
会　長		（ｴﾚｸﾄ）
幹　事		（ｴﾚｸﾄ）
クラブ米山奨学委員長		（予定）
カウンセラー		（予定）

被推薦者	**奨学生NO.(　　)** ﾌﾘｶﾞﾅ **氏名**　　**□男　□女**		
申請時在籍大学・課程・学年	大学　　学部・研究科　　専攻　　年		
国　籍		生年月日	年　月　日
奨学期間終了後の進学先大学・課程・学年 （合格発表：　年　月　日） 大学　　学部・研究科　　専攻　　年			
申請期間 （どちらかに○を記す→）	**10採用は6カ月のみ** ６カ月（42万円）・１２カ月（84万円）	博士課程在籍予定者のみ記入： 博士号取得予定　　年　月	

他奨学金の申請について

申込時点で米山奨学金以外の奨学金に申請していますか。（下記のいずれかに○印）

a．申請中（名称）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

b．申請していない

申請している場合：ｸﾗﾌﾞ支援ロータリー米山奨学金と他奨学金の両方に合格した場合、どちらか1つの奨学金受領を選択し、クラブ支援奨学金を選択する場合は、「他奨学機関合格受領を辞退したことを証明する書類」の提出が必要になります。

上記の内容に偽りがないことを認め、クラブ支援ロータリー米山奨学金を申込みます。

申込年月日　２０　　年　　月　　日

クラブ名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

クラブ会長署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

クラブ印

次年度クラブ会長署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
(10 月採用の場合は不要)

被推薦者署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

太枠内は必ずご記入ください。記載漏れが多い箇所です。

氏名（英文）	申込番号（クラブ担当者記入） RY

指導教員からの推薦状

指導教員へのお願い：被推薦者経由にて学校担当者に渡される場合は、厳封してください。下記記入項目は、指導教員がご記入ください。

被推薦者氏名	国籍・地域
（2017 年4月在籍予定の学校名・所属／学年）	年
指導教員氏名 ㊞	役職名
指導教員所属学校名・学科 ・研究科	作成日 年　　月

推薦の理由を以下に出来るだけ詳細にご記入ください。

学習面：

人格：

生活：

※指導教員が 1 枚に収め、ワードで推薦状を作成する場合は、A4 用紙に当用紙と同じ項目を記載してください。指導教員印を必要とします。
※学部生・高等専門学校専攻科生・高度専門士課程生は、「指導教員もしくはこれに準ずる教員」とします。
※2017 年 4 月に、進学・編入学する学生は進学・編入学先の教員ではなく、現在の指導教員による推薦状の提出を許可します。
※日本語でご記入ください。記入言語が日本語でない場合は日本語訳を添付してください。

氏名（英文）	申込番号 RY

研究計画書

下記のテーマについて、必ず本人が日本語 800 字以内で記入してください。
黒インク又は黒のボールペンを使用すること。

学部生：「現在の学習・履修状況と卒業後の進路」
大学院生：「大学院での研究予定または現在までの研究状況」

１８×２０

氏名（英文）	申込番号 RY

研究計画書

２２×２０

氏名（英文）	申込番号 RY

小論文

下記のテーマについて、必ず**本人が日本語 800 字以内**で記入してください。
黒インク又は黒のボールペンを使用すること。

テーマ：「なぜ留学先に日本を選んだのか。日本留学を終えた後の将来計画」

１８×２０

氏名（英文）	申込番号 RY

小論文

２２×２０

ｸﾗﾌﾞ支援奨学金用

クラブ会長またはカウンセラーからの推薦状

被推薦者氏名	国籍・地域
（在籍予定の学校名・所属／学年）	年
世話クラブ会長氏名 ㊞	
世話クラブ　カウンセラー氏名 ㊞	作成日 年　　月

【会長あるいは米山カウンセラーが記入し、会長とカウンセラー双方の印を必要とします】

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園２－６－１５　黒龍芝公園ビル３階
Tel（０３）３４３４－８６８１　　Fax（０３）３５７８－８２８１